

## 2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	2	学年	1	コース	教養フロンティア 健康スポーツ
								必修・選択	必修
使用教材	教科書	最新社会と情報 新訂版 (実教出版)							
	副教材	最新社会と情報 新訂版 学習ノート (実教出版) 2020 事例でわかる情報モラル (実教出版) 課題で学ぶ新「情報」活用テキスト、課題で学ぶ新「情報」活用テキスト「実技・実習」編、課題で学ぶ新「情報」学習ノート (P検協会、ベネッセコーポレーション)							

### 学習目標

- ・情報社会において直面しうる様々な事例に触れ、情報モラルを身につける。
- ・情報に関する基本的な事柄を学習するとともに、情報機器の操作などを通して、情報化社会を生きるために必要な基礎的な知識や技能を修得する。
- ・自ら課題を設定して、情報を収集、処理、表現するとともにコミュニケーションを行う能力を養い、情報化社会に積極的に参画する態度 (情報リテラシー) を育てる。
- ・ITCプロフィシエンシー検定 (P検) の取得を目指す (希望者)。

### 学習方法

- ・テキストや動画を活用して、情報モラルの事例について考察する。
- ・インターネットを利用して、職業調べや就業体験等、「総合的な探究の時間」と関連した調査・研究を行う。
- ・年数回プレゼンテーションを行い、情報のまとめ方やプレゼンテーションの技能について経験を通して学ぶ。
- ・P検テキストを活用してコンピュータを使用する技能を向上させる。また、テキストや学習ノートも使用して、情報の基礎的な知識を習得する。

### 学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめりと下に下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。

<b>①関心・意欲・態度</b>	情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。
<b>②思考・判断・表現</b>	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに、情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。
<b>③技能</b>	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。
<b>④知識・理解</b>	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
授業への取り組み	◎	◎	○	○	授業振り返り、課題 他
プレゼンテーション	○	◎	◎	○	相互評価を含む
定期考査	◎	◎		◎	

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです

※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

### 学習方法等のアドバイスなど

- ・情報モラルや情報の基礎的な知識、情報機器の操作など、様々な事柄を学習します。難しいと感じることもあるかもしれませんが、興味・関心を持って取り組んでください。
- ・個人の活動だけでなく、グループワークなど様々な活動をお願いします。積極的に参加してください。
- ・コンピュータの操作は、失敗を恐れず果敢にチャレンジしてください。わからないところがあれば遠慮せずに担当教員や友だちに聞いて、解決してください。
- ・調査・研究の単位では、自分の頭をフル回転させて、多くの意見やアイデアを出してください。

## 年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期 22単位時間	情報モラル (1学期毎時間) ※授業の前半で行う。後半はコンピュータ操作。	高校入学でスマートフォンを持ち始める生徒も多い。ネットワークの便利さとともに危険性にも目を向け、情報リテラシーを高める。	副教材テキストを読み、協議する 動画視聴 その他、情報モラル教材を活用する 【授業振り返りアンケート】 【定期考査】
	タイピング練習 (年間通して毎時間) コンピュータ操作・Wordの使い方 (5時間)	今後の学習活動に必要なPC操作に、早めに慣れる。	ローマ字入力 (キーボード入力)、マウス操作 【タイピング記録】
	プレゼンテーションソフトの基本操作 (5時間)	年間を通して数回行うプレゼンテーションに備える。	P検テキストに沿ってファイル作成 【PowerPointファイル】
	教科書 (計12時間) 第1章 情報社会と私たち (4時間) 第2章 情報機器とデジタル表現 (4時間) 第3章 表現と伝達 (4時間)	情報の科学的側面を意識しながら、情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付ける。	教科書、学習ノートを使い、基本事項の学習と演習を行う。 【定期考査】 【学習ノート】
2 学期 30単位時間	情報検索の基礎・職業調べ・プレゼンテーション (7時間)	「ひろがれわたし」と連携し、キャリア教育の一環として関心ある職業について深く調べる。	ワークシートを活用し、個人探究、グループ探究を行う。 【ワークシート】 【PowerPointファイル】
	地域研究・プレゼンテーション (15時間)	「総合的な探究の時間」と連携し、探究学習を体感することを目指す。	ワークシートを活用し、個人探究、グループ探究を行う。 【ワークシート】 【PowerPointファイル】 【定
	就業体験「ひろがれわたし」まとめ・プレゼンテーション (8時間)	これまでに学習したことを活かしながら、レベルの高いプレゼンテーションを目指す。 教科書第3章と一緒に学習する。	就業体験の内容を資料 (レポート) にまとめる。 その上で、プレゼンテーションの計画を立て、効果的なプレゼンテーションを考える。 【レポート】 【PowerPointファイル】
3 学期 18単位時間	P検に向けた学習 (計9時間) 文書作成ソフトの基本操作 (4時間) 表計算ソフトの基本操作 (5時間) 情報の基礎知識 (9時間) ※上記のソフトウェア操作と平行開講して行う	P検4級取得を目指す。	P検テキストに沿ってファイル作成 【Wordファイル】 【Excelファイル】
	P検模擬試験の演習、検定 (5時間)		本番と同じ形式の模擬試験を受験 【P検4級結果 (得点)】 【定期考査】
	教科書 (計4時間) 第4章 コミュニケーションとネットワーク	様々なコミュニケーションの手段を学び、情報技術を活用するための基本的な知識を身に付ける。	教科書、学習ノートを使い、基本事項の学習と演習を行う。 【定期考査】 【学習ノート】